

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高校2年	普通科・大学進学	美術	美術 I	4	選択

教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)
その他の教材	図録各種, 参考図書, プリント教材など

目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。			
学習のねらい	<p>(1) 身近な自然や生活などについて感性を持って深く見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに構想し、材料や用具の特性を生かして表現する能力を育成する。</p> <p>(2) 心豊かな生活を創造するため、機能と美しさの調和を追求し、自分の考えを分かりやすく相手に伝えるコミュニケーション能力を養う。</p> <p>(3) 映像メディアの特性を理解し、目的に応じた表現手法を工夫しながら視覚効果を考える能力を高める。</p>			
定期考査	実施せず			
評価の方法	作品および平常点(準備, 提出物の状況)で、総合的に評価する。			
評価の観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に興味をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じとったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
履修上の注意	<p>[準備物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・教科書 <p>その他, 課題内容によって授業内で連絡する</p>			

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/18)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学期	4 月	オリエンテーション [B鑑賞] ・授業を受ける上での準備物や留意事項と高校美術における創造活動の深まりを理解する。	作品および平常点 【期末テスト】
	5 月	石膏デッサン (鉛筆) ・「量感」を陰影で表現できる。 ・立体を構成する「面」を意識して観察、描画できる。	
	6 月	平面構成 [A表現(2)デザイン] ・PCCSにおけるトーンを理解し、配色に生かすことができる。 ・意図に応じて正確に混色することができる。 ・画面構成の要素理解を通して、視覚効果を工夫してテーマを表現できる。	
	7 月	映像作品を読む [B鑑賞] ・様々な手法の映像作品鑑賞を通して、作家の意図や効果の違いなどに気づくことができる	
夏期休業		美術に関するレポート提出	
2 学期	9 月	イラストレーション [A表現(1)絵画・デザイン] ・描画材、表現方法を工夫して制作できる。	作品および平常点 【期末テスト】
	10 月	・テーマに沿った画の構想ができる。	
	11 月	現代人の壁画 [A表現(1)彫刻] ・石膏の扱いを理解できる。 ・自由な線の表現のよさに気づくことができる。	
	12 月	・制作手順を考え、見通しをもって制作できる。 ・相互鑑賞を通して自分の作品制作を振り返るとともに、他の作品のよさを感じ取ることができる。	
冬期休業			
3 学期	1 月	白描画 [A表現(1)絵画・デザイン] ・墨線の美しさを感じ取りながら制作できる。 ・現代の線画である漫画との組み合わせのよさに気づくことができる。	作品および平常点 【学年末テスト】
	2 月		
	3 月		
春季休業			